



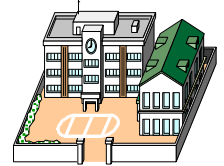
天小だより

令和 3年 10月26日
伊丹市立天神川小学校
校長 津田 康子

1 令和3年度全国学力・学習状況調査について

天小だより『臨時号』でお知らせしていました、「全国学力・学習状況調査」（国語・算数及び学習の基盤となる意欲・習慣等の質問紙調査）の結果を報告いたします。今後も調査の結果を受けて作成しました学力向上プラン（裏面）に基づいて学習を進めてまいります。

なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。



2 調査結果と課題について

(1) 学力調査結果と課題

上記学力調査の結果、国語における平均正答率（受検者に対して正答していた児童の割合）は、全校平均を少し上回っていました。算数は、全国平均とほぼ変わりませんでした。以下は各教科の結果と課題です。

〔国語〕

- ・漢字の定着は、比較的できていました。毎日繰り返し練習する等の積み重ねの成果が現れています。
- ・記述問題については、無回答がほとんど無く、最後まで書こうとする様子が見られました。問題文の中から、正確に読み取ろうとしていました。
- ・目的、意図に応じて理由を明確にして書き方を工夫することに課題が見られました。
- ・条件を全て網羅して答えることに課題が見られました。3つある条件のうち、1つが抜けている場合は正解にはならないため、問題を正確に読む力が必要となります。

〔算数〕

- ・速さの問題において、課題がありました。
- ・面積の求め方を記述することに課題がありました。公式を覚えていても、求め方を文章で記述する力が不足していました。
- ・グラフを正確に読み取る力に課題がありました。算数以外の社会や理科、国語などの学習においても、グラフを積極的に活用していく必要があります。

(2) 学習状況調査結果について

- ・「自分にはよいところがあると思う」の質問で、肯定的な回答が77.1%と、全国平均を上回っていました。
- ・「家で自分で計画をたてて勉強していますか」の質問では、62.7%で全国平均を下回っていました。
- ・「国語の勉強は好きだ」と回答した割合は、全国平均を上回りましたが、「算数の勉強は好きだ」と回答した割合は、全国平均を下回りました。
- ・解答時間は算数も、国語も「充分だった」と回答した割合が、全国を大きく上回りました。

今後は、学力向上プラン（裏面）にそって、課題を中心に、また、児童の頑張っているところをさらに伸ばしながら教育活動を行ってまいります。

学力向上プラン

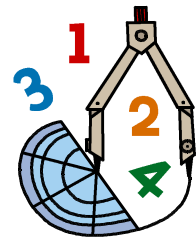
【 学力について 】

1 4つの学力向上策の徹底

- (1) 読書活動の充実
- (2) プリント学習、タブレット活用、音読計算等による基礎・基本の定着
- (3) 書く活動の積極的な取り入れ(新聞等の活用)
- (4) 学習規律の定着(体幹体操を取り入れた正しい姿勢)

2 授業における「めあて・ふりかえり」のさらなる定着・充実

- (1) 自分の考えを发表或し、伝え合ったりして学び合う場を工夫する
(主体的・対話的な学習)
- (2) 児童の学習意欲を高めるめあての設定
- (3) 児童の学力の定着につながるふりかえり
- (4) 学びの足あととなるノート指導(スクールタクトへの記録)
- (5) 計画的な自主学習による復習や予習(自学ノート等の活用)



3 きめ細やかな指導の実践

- (1) 個に応じた指導の充実
- (2) 家庭での学習時間の確保と具体的な学習内容の提示
- (3) 朝の時間の活用(漢字・計算等の基礎・基本の定着や新聞の視写等)
- (4) 到達目標を意識した授業展開(評価テストの工夫)
- (5) 土曜学習・放課後学習の活用(地域人材の積極的活用)

4 落ち着いて学習できる環境作り

- (1) 組織的で丁寧な生活指導の推進
- (2) 自己肯定感の向上につながる、互いを認めあう学級集団づくり

5 授業力の向上

- (1) 授業改善を推進し、教員一人一人の指導力を向上させる。
- (2) タブレットを含めた教材教具の工夫、ICTの活用をさらに進め、学習への興味関心を高める授業を行う。
- (3) 主体的、対話的で深い学びとなるよう、授業内容や方法を工夫する。
- (4) 個人の指導力と同僚性を高め、互いに学び合い高め合う教師集団づくり。

【 生活習慣等について 】

1 PTAとの連携

- (1) 子どもたちの生活実態について共通理解を図り、生活習慣・学習習慣について改善策を検討するとともに、「はぐくみ」等により啓発を行う。

2 基本的な生活習慣・家庭学習習慣の定着

- (1) 学校・学年・保健便り・「すくすくチェック」等を活用し、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣や、ゲーム・携帯電話・スマホ等の使用についての指導を繰り返し行う等して、規則正しい生活習慣をさらに定着させる。
- (2) タブレットも含め、個に応じた適切な量と内容の宿題を付与し、細やかな指導と「やり切る力」を付けることで家庭学習の習慣を定着させる。また、自分で計画して学習する習慣をつけさせる。